第１表の１

７三鷹東台小第９４号
令和８年３月１０日

三鷹市教育委員会　様

学校名　鷹南学園三鷹市立東台小学校
校長名　大木　美香（公印省略）

令和８年度教育課程について（届）

このことについて、三鷹市公立学校の管理運営に関する規則に基づき、教育支援学級（知的障がい）の教育課程を下記のとおりお届けします。

７三鷹東台小第９４号
令和８年３月１０日

記

１　学園の教育目標

（１）　学園の教育目標

○　自ら課題を見つけ学び、考え、解決する人
◎　自分や相手を大切にし、優しさを広げる人（重点）
○　自ら心身の健康を保ち、進んで行動する人
○　地域の一員としての自覚をもち、社会に目を向ける人

学園の目標を達成させるためには、児童・生徒自身がじぶんたちのよさに気づき、それを大切にし、より伸ばしていこうとする態度を育てることが大切である。そのために、重点的に育成する資質・能力を「自分のことも他の人のことも大切にできる力」とし、子どもたち一人ひとりを大切にする学園・学校風土を醸成し、すべての児童・生徒にとって学園・学校が安心できる居場所となるための取組を推進する。

（２）　学園の教育目標を達成するための基本方針

学園の重点目標を、「自分や相手を大切にし、優しさを広げる人」とし、次の４点に重点をおき、学園の教育目標の達成を図る。鷹南学園の強みを生かした小・小連携及び小・中連携、そして地域と連携した学びを通し、「自分で自分の力を伸ばし、より良い学校生活を築く」ことを大切にし、学園に関わる全ての人のウェルビーイングの実現を目指し、学園として一体感をもった取組と各校の特色を生かした教育活動を行う。保護者・地域社会が学園の教育理念を共有し連携・協力しながら、「社会に開かれた教育課程」の実現を図り、より良い学校・よりよい地域づくりを目指す。

○子どもたち一人ひとりを大切にする学園・学校風土の醸成（安心できる居場所となる学園・学校づくり）
○多様な他者との学び（学びの広がり・多様なコミュニケーション・社会性と主体性の育成）
○学びにおける「自己調整力」の育成（「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善）
○スクール・コミュニティの発展（地域をつなぐ拠点となる学校づくり）

ア　自ら課題を見つけ学び、考え、解決する人

（ア）　確かな学力の向上

・学園研究を通し、各教科・領域の見方・考え方を十分に働かせながら、主体的・対話的で深い学びと協働的な学びの一体的な充実の実現を図る。
・全ての児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるため、特性や学習進度、学習到達度に応じた指導の個別化、興味・関心やキャリア形成の方向に応じた学習の個性化を図る。（学習用タブレット端末・地域未来塾・学習支援ボランティア・地域人財・地域資源の活用）
・学園研究において継続的に３校の教員が授業を参観し合い、自らの課題を明確にした授業改善

に取り組むことで、主体的に学ぶ児童・生徒の育成を目指す。

（イ） だれ一人取り残さない一人ひとりを大切にする教育の実現

・三鷹市小・中一貫カリキュラム（更新版）の活用を図り、ユニバーサルデザインの考えを重視するとともに、小・中相互乗り入れ授業を活用し、小・中連携した分かりやすい授業づくりを推進する。

・教育支援の充実を図るために、小・中連携し児童・生徒の情報を共有しながら、「三鷹市教育支援プラン２０２７」を基に、一人ひとりの児童・生徒の課題に応じた支援を行う。

・小学校６年生が中学校生活を円滑に始められるよう、３校の教員が十分な情報を共有する。

・不登校児童・生徒に対し、関係機関と連携し改善に向けた対応をするとともに、オンラインによる授業や、校内別室の活用により多様な学習環境を整備する。

（ウ） 学びにおける自己調整力の育成

・自分の力やよさを最大限に発揮し、自らよりよい行動（学習も含めた生活全般）ができるようにする。そのために、児童・生徒が主体的に学習に向かうための動機付けを大切にし、自ら目標をもって学習に取り組めるようにするとともに、学習方法を自ら選択できるようにする。キャリア・パスポートも活用しながら自分のよさや、できるようになったこと、課題に気付かせ、自己の行動や学習・感情などをコントロールし、目標をもって主体的に学校生活を送れるようにする。

・一人ひとり異なる多様な児童・生徒の特性や学習進度・達成度、発達段階、興味・関心などに応じた学習活動や学習課題に、ＩＣＴを活用しながら自らの主体的な学習に取り組ませる。

・「見通し→学び→振り返り」のサイクルの中で、自分に合った学び方を選択したり、学びを自己調整したりできる力を育てる。

イ　自分や相手を大切にし、優しさを広げる人（重点）

（ア） 人権意識の向上

・児童・生徒が大切にされ安心できる環境の中で、多様な個性を尊重し自分も相手も大切にしながら、よりよく生きようとする態度、規範意識や義務・責任を果たそうとする態度を育てるとともに、いじめやネットモラルに関する正しい知識をもち、豊かな人権感覚、思いやりの心を育てる。

（イ） 道徳教育の充実

・道徳授業地区公開講座を活用し、家庭・地域と連携しながら、「特別の教科　道徳」の授業を充実させ、意図的・計画的に道徳性を養う。公共心や規範意識などの社会性を育むとともに、いじめに関する問題を多面的・多角的にとらえ自分ごととして考えられるようにする。

（ウ）多様な他者との学びの充実

・地域人材・資源と連携した授業や、行事等での地域の人々との交流を通して、多様な他者から学ぶこと、多様な他者とともに学ぶこと、多様な他者と協働することに喜びを感じられる児童・生徒を育成する。

ウ　自ら心身の健康を保ち、進んで行動する人

・東京都児童・生徒の体力調査の結果を踏まえ、学校の課題を重点化し、体育の授業や体育的行事、日常的な取組を通した体力向上について、学園で取組を共有しながら、実践・評価・改善を行う。小学校においては、中学校体育科教員の専門的な指導を活用し、授業力を向上させる。

・家庭や地域と連携しながら、休み時間や部活動、放課後の活動において運動に親しませるとともに、運動をする習慣や意欲を高める。

・生活習慣の向上や心身の健康に向け自己管理に努めるとともに、心の不安や悩みに対処したりＳＯＳを発信したりすることができる、心身ともに健康な児童・生徒を育てる。

・自分たちの健康課題に関心をもち、よいところをより伸ばし、不十分なところを改善するために主体的に行動できる児童・生徒を育成する。

・児童・生徒が「食」に対して関心をもち、自らの健康と食とのつながりを理解しながら感謝し

て食べることができるよう、食育の充実を図る。

エ　地域の一員としての自覚をもち、国際社会に目を向ける人

・学校行事や地域行事等における多様な他者との交流を通し、地域の一員として自分にできることを考え、実行しようとする態度を育てる。
・地域行事やボランティア活動への参加を通して、多様な人と協働しながら地域に貢献できることに喜びを感じられる児童・生徒を育成し、ボランティアマインドの情勢を図る。
・広い視野をもって国際社会に目を向け、多様性を理解し尊重する態度や共に生きていく力を育成するとともに、相手の立場を尊重しながら自分の考えなどを表現できる外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力を育成する。

（3）コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育としての重点

ア　コミュニティ・スクール委員会と協働し、児童・生徒が多様で豊かな体験活動を通し人間力・社会力を身に付けられるよう、学校３部制の第２部・第３部と連携して地域社会の協力を得たり、学園版カリキュラムや地域人財を活用したりしながら、教育活動の充実を図る。

イ　学園運営委員会及び学園管理職会、学園研究会や小学校の同一学年間の連絡会において、教職員が連携･協働しながら､それぞれの役割を最大限に発揮することで学園をチームとして機能させ、児童・生徒の教育効果を高める。

ウ　児童・生徒間同士及びコミュニティ・スクール委員会をはじめ地域の大人との協働的な学びを通し、多様なものの見方を育てたり、よりよい人間関係づくりをしたりしながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

エ　鷹南学園児童・生徒交流（学園引き渡し訓練、児童・生徒会交流、中学校体験、部活動体験、あいさつ運動など）及び地域行事を通じて、学園の児童・生徒及び教職員、コミュニティ・スクール委員会、地域・保護者が協働することで、地域がつながるとともに、児童・生徒のより良い環境づくりとなるスクール・コミュニティの実現を目指す。

オ　小学校６年生における学園合同自然教室の実施に向け、１年生から段階的な小・小交流を教科横断的な視点と柔軟な発想で計画・実施する。